

- 【スタッフ数】 医師：2名 内視鏡技師：2名 看護師：5名（検査時は医師1名・技師1名・看護師2名で対応）
- 【病床の有無】 あり（19床）
- 【検査前の食事指導】 特別な検査食は利用せず、患者様自身で消化の良いものを準備し食べて頂くようパンフレットを用いて口頭指導。
- 【下剤服用】 センノシド 無～4錠 または ピコスルファート 無～1本を患者様の検査前の便通状況に応じて処方。
- 【腸管洗浄剤の割合】 自宅飲用：70.5% 院内飲用：16.2%
- 【大腸内視鏡治療】 ポリペクトミー（コールド・ホット）EMR
- 【治療適応】 抗血栓薬1剤服用中の場合、全身状態が安定していれば休薬はせず治療。
全身状態に不安がある方や抗血栓薬2剤以上服用中の場合は、循環器医または処方医に相談し、休薬等の指導のもと治療。極めて出血のリスクが高い場合は術後管理が整っている大学病院などに紹介。
- 【日帰り治療】 あり
- 【日帰り治療適応基準】 全身状態が安定しており、自宅での治療後ケアが守れる。
切除個数が1～2個。
抗血栓薬を服用していない。
クリップなどで止血が確実に行われ出血のリスクが低いと医師が判断した場合。
30分程度で来院できる場所に住んでいる。
※ポリープが大きい場合や小さくても切除する個数が多ければ（3個以上など）は入院
- 【治療後ケア】
- | | |
|------|---|
| 食事指導 | 外来で治療を終えた方は、当日はスープやお粥など消化の良いものとし治療後1週間は刺激物を控えるよう指導。
入院された方は、翌朝まで少量の飲水可、絶食で点滴管理します。 |
| 嗜好品 | アルコールや煙草については、治癒を遅らせ出血の原因となることがあるため1週間は控えます。 |
| 入浴 | 治療当日は控えて頂き翌日より1週間は長湯を避け、シャワーなど短めに済ませるよう指導。 |
| 運動指導 | 適度な運動にとどめ、激しい運動や強い負荷のかかる運動は避けるように指導。 |
| 出血時 | 緊急内視鏡にてクリップや高周波焼灼などの止血処置を行う。 |